



平和 茶碗の図
人間国宝 荒川豊蔵氏筆

多治見西 RC 創立 10 周年記念誌より
右写真 平成 2 3 年多治見駅前



例会日 毎週木曜日
事務局 多治見市新町 1-23
産業文化センター 4F
TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101
E-mail : n-rc@joy.ocn.ne.jp
HP http://tajiminishi.jimdo.com/
会長 佐藤 正 幹事 古田徳夫
会報 佐藤八郎 堀 義紀

第 4 6 期会長テーマ
「つなげよう奉仕の心」



第 2204 例会 2011 年 9 月 15 日 (木)
ローターアクトとの合同例会

場 所 : まるや
点 鐘 : 午後 6 時 30 分

ローターアクト出席者
国際奉仕・専門知識開発委員会
佐久間絵美さん (サクマ エミ)
栃久保香里さん (トチクボ カオリ)
社会奉仕・クラブ奉仕委員会
林 成子さん (ハヤシ シゲコ)

本日のプログラム
点 鐘
ビジター紹介・会長挨拶
ローターアクト挨拶
ローターアクト委員長挨拶
幹事報告
点 鐘
——懇親会——
乾 杯
閉会の挨拶

先週の記録

◆出席報告 (出席免除者 5 名内出席者 2 名)

出席者	欠席者	出席率
28 名	7 名	80%

◆スマイル報告

- 投函者 18 人 金額 20,000 円
・親睦家族旅行 11 月 17 日、日間賀島で
ふぐ料理です。皆様のご参加をお願いします。
伊藤義弘
・本日卓話をさせていただきます。よろしく
お願いします。 中島竹壽
・中島君の卓話、楽しみにしています。
佐藤 正 大岩順子

着信書類

- ・多治見まつり協賛金協力をお願い
- ・11 月 R 財団理解月間
卓話講師依頼をお願い

他クラブ例会変更のお知らせ

- ・土岐中央 RC → 9 月 20 日 (火)
早朝例会のため「ビッセルア・キャビン」

来週 (22 日) のお知らせ
卓話 佐藤八郎君「1991 年 9 月 26 日・
2003 年 8 月 28 日ウィークリーよりの話」

9月の会長挨拶

佐藤 正

9月は新世代月間となっています。今週の例会はローターアクトとの合同例会ですので、今回はローターアクトの活動について少し書かせていただきます。今期に入り早々(7月15日)にローターアクトとの例会があり、幹事、ローターアクト副委員長の大澤君と三人で出席しました。会長の大江君から今年度の活動計画、地区大会の開催についての意気込み等説明を聞かせて頂きました。少ないメンバーでは有りますが活動に対して真剣に取り組んでおられ、西ロータリークラブとしても会員増強の応援をしなければいけないと思いました。同じ悩みを持つ当クラブとしては難しく、又現状の社会情勢では1~2年でメンバーを多く増員できるとは考え難いのが実情です。当面1~2年会員増強が進む間、奉仕活動を一部共同で計画するのも一案ではないでしょうか? 10月にはI. M. (1日)、ガバナー公式訪問(12日)、地区大会(22日 23日)と多くの行事が予定されております。お忙しい中ではありますが、会員の皆様にはご協力頂きますようよろしくお願い致します。

多治見ローターアクト

2011~2012年度クラブターゲット

『多治見ルネサンス』

「再生」・生まれ変わり続けるクラブであるために

親子がふれあうPTA活動

小泉中学校 教育講演会

9月7日(水) 小泉中学校体育館

「いのちをいただいてつなぐこと」

~いずれ一人で生きていく君たちへ~

弁当の日推進運動を進めてみえる

「助産師」内田美智子先生の講演

PTA 150名 生徒 539名が参加しました。



苗栗と客家人(一)

各務成喜

私達が住んでいる日本には日本民族が住んで居ますね! 日本と同じように台湾に住んでいる人は台湾人だと思っていますが、台湾には台湾民族などと言う民族はいないんです。

台湾に住んでいる人は原住民族の「山地人」。台北などの平地、沿岸地域の居住し易い地域を寡占し、政治経済を占有していた、大陸中国の「福建人」。北方、漢民族に圧迫され、転々と僻地に追いやられ苦難な道を歩み、蓬萊の島と言われた台湾に、希望と夢を抱き、渡航して来たのが「客家人」ですが、ここでも、先住の福建人から、後から来た人客家人として福建人が居住する生活圏に居住することが許されず、中部山地の僻地に追いやられ、苗栗地域にやっと居住することが出来た「客家人」の三民族が台湾での主民族でした。第二次大戦の後、毛沢東の共産党との戦いに敗れ、台湾に逃れて来た、蒋介石、国民党の「大陸中国人」が日本に替わり台湾を占拠し支配してきました。支配政権の国民党は「大陸中国語」を国語として強制しました。

それが為「大陸中国語」「福建語」「客家語」「山地語」の四つの言葉が使用されていますが「大陸中国語」が公用語としています。順応性のある「客家人」は「公用語」と「客家語」を器用にミックスして話していることを私たちは耳にしています。「言葉」一つにも民族の歴史があることを「十分に理解し」姉妹提携の友誼を重ねて行く事が非常に大切ですね! 姉妹提携を重ねて来ますと「日本語」が通じ易いので台湾が外国だと言う意識が希薄になってきます。

多治見西RCの会員のある人は、日本語が通じる人が段々と少なくなって来たから「姉妹提携」を止めちゃえ」という会員がいます。私は、そういう会員に、「貴方は苗栗の会員と話をしよう」と中国語を勉強しよう」と努力しましたか? と聞きたい。自分が「中国語」を学習せずに「苗栗のロータリアン」に「日本語を学習せよ!」とは戦前の尊大無礼な日本人を思わせます。

